

JMOOC 講座

1. 概要

インターネットを利用したオープン教育は、学生に対する学修補助効果、教育の質の向上が期待されるだけでなく、「大学の知」を社会に還元する社会貢献にもつながるものであり、本学の新たな「価値」「意味」を創出する役割を担うと考えられる。また、広報効果として、その性質から国内のみならずグローバルに本学の知名度を高めることが期待できる。

本学は 2014 年度より日本オープンオンライン教育推進協議会（JMOOC）に参加し、毎年 1～2 講座を開講してきている。2017 年度も 1 講座を JMOOC 公認プラットフォーム「gacco」にて開講した。

2. 利用状況

(1). 開講講座情報

講座名：グローバリゼーション時代の国際政治～市民の作る平和と豊かさ～

講師：法学部政治学科 教授 竹中千春

講座アシスタント：法学研究科生 2 名配置

開講期間：2018 年 1 月 16 日（火）～2018 年 3 月 27 日（火）

受講登録者数：2,604 名

受講修了者数：507 名



図 1：JMOOC 講座コースカード

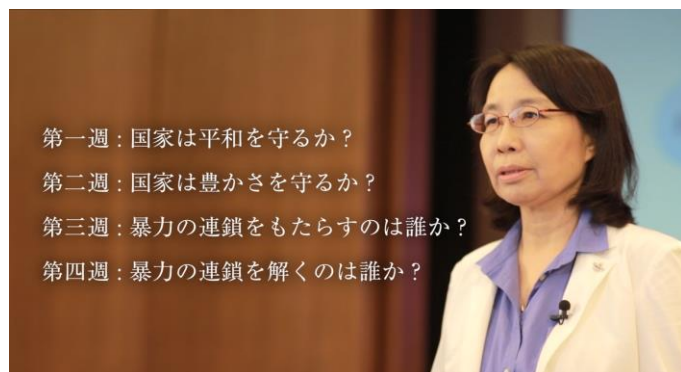


図 2：JMOOC プロモーション動画イメージ

(2). アンケート集計

2017年度より、JMOCプラットフォームを運営している㈱ドコモ gacco によるアンケートおよび受講状況等各種集計結果の分析報告書を提出してもらうようになったため、報告書より一部抜粋する。

① 受講状況

	受講者数	ディスカッションスレッド数	修了率
グローバル化時代の国際政治	2,831	36	19.5%
gacco講座平均 (昨年度平均)	2,927	72	16%

表1：JMOC 受講者数、修了率

② 性別、年代別受講状況

	男性							男性 集計	女性							女性 集計	その他 集計
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上		
受講登録数	20	222	211	298	313	349	280	1693	32	188	145	135	128	56	32	716	422
受講登録 構成比	0.7%	7.8%	7.5%	10.5%	11.1%	12.3%	9.9%	59.8%	1.1%	6.6%	5.1%	4.8%	4.5%	2.0%	1.1%	25.3%	14.9%
他講座平均	1%	9%	13%	15%	11%	7%	2%		1%	6%	7%	7%	5%	2%	0%		14%

表2：JMOC 性別、年代別受講状況

③ 受講登録推移

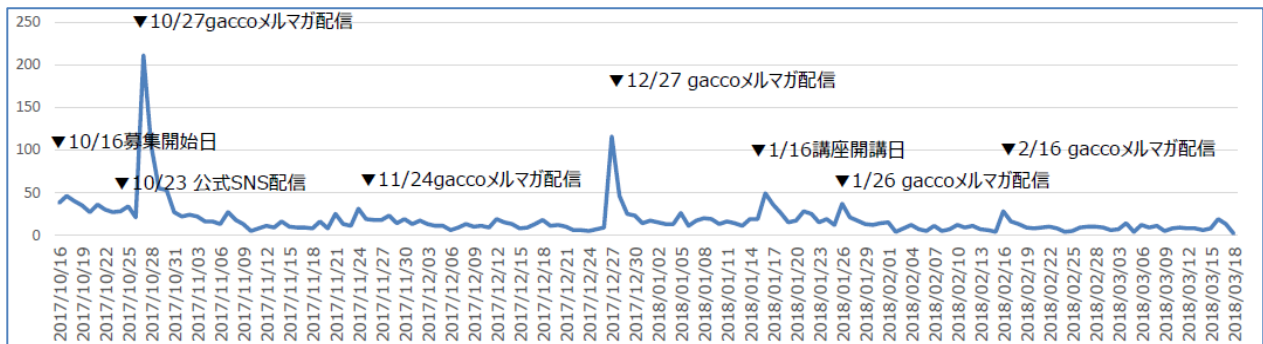


表3：JMOC 受講登録推移

④ アンケート結果

職種（受講前）			講座の満足度（受講後）				
No.	カテゴリ	回答数	構成比	No.	カテゴリ	実数	%
1	01. フルタイムで働いている	546	50.1%	1	01. 大変満足	122	49.0%
2	02. パートタイム、アルバイト	113	10.4%	2	02. まあ満足	109	43.8%
3	03. 専業主婦（夫）	40	3.7%	3	03. やや不満	18	7.2%
4	04. 無職	280	25.7%	4	04. 不満	0	0.0%
5	05. 小学生	0	0.0%	回答数合計		249	100.0%
6	06. 中学生	1	0.1%	講座の関心度・理解度（受講後）			
7	07. 高校生	29	2.7%	No.	カテゴリ	実数	%
8	08. 短大生・高専生・専門学校生	0	0.0%	1	01. グローバリゼーション時代の国際政治について関心があり、理解もしている	162	65.1%
9	09. 大学生	55	5.0%	2	02. グローバリゼーション時代の国際政治について関心はあるが、あまり理解はしていない	80	32.1%
10	10. 大学院生（修士課程）	12	1.1%	3	03. グローバリゼーション時代の国際政治について関心はないが、理解はしている	5	2.0%
11	11. 大学院生（博士課程）	4	0.4%	4	04. グローバリゼーション時代の国際政治について関心はなく、理解もしていない	2	0.8%
12	12. 上記以外の学生	10	0.9%	回答数合計		249	100.0%
回答数合計		1090	100.0%				

表4：JMOC アンケート結果

3. 2017年度のまとめ

本学では5講座目のJM00C出展であり、2017年7月より講座準備を始め9～10月に講座撮影、年内に課題設定などを終え、2018年1月16日に予定通り開講を迎えた。併せて、講座各週のテーマと連携した形で、本学で行われたゲストスピーカーを招いての講演会映像等を公開し、大変好評を得た。参考までに映像資料を付記する。

第1週

元国連事務次長 明石康氏による講演会映像（2016年6月17日）

<https://www.youtube.com/watch?v=xBBTyfSke2Y>

第2週

国際連合大学学長・国際連合事務次長デイビッド・マローン氏による講演会映像
（2017年6月8日）

<https://youtu.be/-NANp2hs6DY>

第3週

インドの歴史学者（出版社ズバーンCEO・社会活動家）ウルヴァシ・ブタリア氏による講演会映像「21世紀アジアの新しい課題——南アジアとジェンダーの視点から」（2016年11月24日）

<https://youtu.be/Nx1P1tDGQY8>

第4週

国連本部で行われたマララ・ユサフザイさんスピーチ映像（2013年7月12日）

<https://www.youtube.com/watch?v=aGqcWmCJ8gM>（国連広報センター提供）

受講者アンケートの結果、性別・年代別集計では50～60代の無職男性が多いことから「定年後の学びなおし講座」として受講され、受講後のアンケートには「ニュースや新聞では知り得ない現地の情報が多く、内容的に大変満足した」というコメントや、続編を求める声もあった。一方、JM00Cで行われている相互採点という仕組みと最終レポートのループリックがそぐわない面もあり、その点に対するネガティブな意見も見受けられた。

日本オープンオンライン教育推進協議会（JM00C）全体の動きとしては、大学からの新規講座出典が年々減っている状況を鑑み、2017年度から新規講座のコンテンツ作成に助成金が出るようになった。本学としては、引き続き、年度1本のペースで講座作成に取り組んでいきたい。